



2023年3月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2022年10月28日

上場取引所 東・名

上場会社名 株式会社デンソー
 コード番号 6902 URL <https://www.denso.com/jp/ja/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 有馬 浩二
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 篠田 吉正 (TEL) 0566-61-7910
 四半期報告書提出予定日 2022年11月4日 配当支払開始予定日 2022年11月25日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(記載金額は百万円未満を四捨五入表示)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績 (2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	3,020,114	16.9	155,413	△2.5	170,644	△6.7	116,507	△5.7	105,798	△6.1	124,264	△49.1
2022年3月期第2四半期	2,582,940	24.5	159,319	—	182,855	—	123,574	—	112,726	—	244,208	299.1

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	138.74	—
2022年3月期第2四半期	145.60	—

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	7,346,338	4,468,561	4,280,694	58.3
2022年3月期	7,432,271	4,489,526	4,299,357	57.8

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	80.00	—	85.00	165.00
2023年3月期	—	90.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	90.00	180.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想 (2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株 当たり当期 利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,310,000	14.4	480,000	40.7	523,000	35.9	402,000	39.2	378,000	43.2	500.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想の修正については、本日(2022年10月28日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

基本的1株当たり当期利益の算定には、2022年7月29日公表の「自己株式の取得及び自己株式の公開買付けに関するお知らせ」に記載した、株式の取得価額の総額上限(100,000百万円)により算出した予想自己株式取得数を反映しています。公開買付けによる自己株式の取得状況については、2022年8月30日公表の「自己株式の公開買付けの結果及び主要株主の異動に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2023年3月期2Q	787,944,951株	2022年3月期	787,944,951株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	33,628,916株	2022年3月期	24,616,949株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2023年3月期2Q	762,583,787株	2022年3月期2Q	774,244,197株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は新型コロナウイルス感染症等、今後の事業環境が不透明なことから、記載の予想数値と異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

当社は、2022年10月28日に証券アナリスト・機関投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で使用する資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明	2
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	3
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	5
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	7
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

連結会社は「デンソーグループ2030年長期方針」を策定し、「地球に、社会に、すべての人に、笑顔広がる未来を届けたい。」というスローガンの下、「環境」「安心」への企業活動を通じた社会課題の解決と、社会から「共感」していただける新たな価値の提供を通じて、笑顔広がる持続的社会的の実現を目指しています。足元では、車両の減産や、部品費・材料費の高騰などの厳しい外部環境状況が続く中、経営基盤や財務体質の強化、「環境」「安心」を軸にした成長戦略の立案に取り組み、仕事のデジタル化による効率化や事業ポートフォリオの組換えによるリソース適正化など成果が出始めています。こうした活動を定着させるとともに、従来の強みを活用した製品やソリューションの提供など新たな価値創造への取り組みを進め、事業成長と社会課題の解決を両立させ更なる発展に努めていきます。

当第2四半期連結累計期間は、第1四半期の中国ロックダウンや半導体不足による車両減産があったものの、第2四半期以降は車両生産が回復基調にあり、電動化等の注力領域を中心とした拡販の実現や為替の円安傾向により、売上収益は3兆201億円（前年同四半期比4,372億円増、16.9%増）と前年比増収となりました。これは第2四半期連結累計期間、及び第2四半期連結会計期間としても過去最高となりました。営業利益は、車両生産の回復や拡販効果、為替の円安傾向、採算改善努力等があるものの、電子部品を中心とした部材費、物流費の高騰などの外部環境の影響等により、1,554億円（前年同四半期比39億円減、2.5%減）と前年比微減となりました。税引前四半期利益は、1,706億円（前年同四半期比122億円減、6.7%減）、四半期利益は、1,165億円（前年同四半期比71億円減、5.7%減）、親会社の所有者に帰属する四半期利益については、1,058億円（前年同四半期比69億円減、6.1%減）となりました。

セグメント別の業績については、売上収益は車両生産の回復や拡販の実現に加え、為替の円安効果もあり全地域で前年比増収となりました。営業利益は、グローバルで合理化や変動対応力強化等の採算改善努力があるものの、部材や物流費高騰等の外部環境悪化、労務費増等により、北米・欧州で、前年比減益となりました。

日本での売上収益は、車両減産があったものの1兆7,389億円（前年同四半期比490億円増、2.9%増）と増収となりました。営業利益は部材や労務費高騰等あるものの、為替の円安傾向や合理化に加え、外部環境悪化分の価格反映も進め、910億円（前年同四半期比21億円増、2.4%増）と増益となりました。

北米地域の売上収益は、電動化拡販により7,150億円（前年同四半期比1,503億円増、26.6%増）と増収となりましたが、営業利益は部材や物流費高騰、労務費増の影響等により、130億円（前年同四半期は29億円の営業利益）の営業損失となりました。

欧州地域の売上収益は、車両生産の回復により3,219億円（前年同四半期比524億円増、19.4%増）と増収となりましたが、営業利益は部材やエネルギー費、物流費高騰等により36億円（前年同四半期比3億円減、7.0%減）と減益となりました。

アジア地域の売上収益は、車両生産の回復により9,609億円（前年同四半期比2,455億円増、34.3%増）と増収、営業利益は部材や物流費高騰、構造改革費用等あるものの674億円（前年同四半期比100億円増、17.4%増）と増益となりました。

その他地域の売上収益は、536億円（前年同四半期比175億円増、48.6%増）、営業利益は114億円（前年同四半期比34億円増、42.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産については、その他の金融資産の減少等により、前連結会計年度末に比べ859億円減少し、7兆3,463億円となりました。負債については、繰延税金負債の減少等により、前連結会計年度末に比べ650億円減少し、2兆8,778億円となりました。

資本については、有価証券の評価時価の減少等により、前連結会計年度末に比べ210億円減少し、4兆4,686億円となりました。

(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明

当期の通期連結業績予想につきましては、売上収益は、為替前提の変更を反映し、6兆3,100億円に上方修正いたします。営業利益は地域間構成の悪化影響があるものの、為替の円安傾向と採算改善努力の積み増しを反映し、前回公表を据え置き4,800億円といたします。また税引前利益は5,230億円、当期利益は4,020億円、親会社の所有者に帰属する当期利益は3,780億円といたします。また、為替レート的前提は1 U S \$ = 135円、1 ユーロ = 137円としております。

なお、上記の業績予想には、現時点での入手可能な情報に基づく将来の予測が含まれています。今後の事業運営や為替の変動等内外の状況変化により、実際の業績が記載の予想数値と大幅に異なる可能性があります。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	867,808	819,773
営業債権及びその他の債権	1,120,781	1,170,080
棚卸資産	1,032,161	1,145,503
その他の金融資産	17,730	15,974
その他	107,696	122,538
小計	3,146,176	3,273,868
売却目的で保有する資産	22,638	—
流動資産合計	3,168,814	3,273,868
非流動資産		
有形固定資産	1,912,607	1,978,334
使用権資産	45,394	46,703
無形資産	155,580	163,640
その他の金融資産	1,861,373	1,586,558
持分法で会計処理されている投資	113,580	116,844
退職給付に係る資産	111,351	109,355
繰延税金資産	36,871	40,522
その他	26,701	30,514
非流動資産合計	4,263,457	4,072,470
資産合計	7,432,271	7,346,338

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債及び資本		
流動負債		
社債及び借入金	262,819	310,407
営業債務及びその他の債務	1,131,375	1,144,704
その他の金融負債	51,034	50,730
未払法人所得税	36,995	43,104
引当金	144,560	116,895
その他	75,286	93,876
小計	1,702,069	1,759,716
売却目的で保有する資産に直接関連する負債	476	—
流動負債合計	1,702,545	1,759,716
非流動負債		
社債及び借入金	728,616	691,625
その他の金融負債	33,860	32,511
退職給付に係る負債	265,188	266,142
引当金	1,228	1,739
繰延税金負債	197,122	111,167
その他	14,186	14,877
非流動負債合計	1,240,200	1,118,061
負債合計	2,942,745	2,877,777
資本		
資本金	187,457	187,457
資本剰余金	273,803	273,822
自己株式	△152,346	△212,220
その他の資本の構成要素	972,783	960,592
利益剰余金	3,017,660	3,071,043
親会社の所有者に帰属する持分	4,299,357	4,280,694
非支配持分	190,169	187,867
資本合計	4,489,526	4,468,561
負債及び資本合計	7,432,271	7,346,338

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

(要約四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上収益	2,582,940	3,020,114
売上原価	△2,202,702	△2,626,450
売上総利益	380,238	393,664
販売費及び一般管理費	△228,672	△240,644
その他の収益	19,819	18,612
その他の費用	△12,066	△16,219
営業利益	159,319	155,413
金融収益	21,742	25,646
金融費用	△3,560	△5,043
為替差損益	1,946	△4,410
持分法による投資損益	3,408	△962
税引前四半期利益	182,855	170,644
法人所得税費用	△59,281	△54,137
四半期利益	123,574	116,507
四半期利益の帰属		
親会社の所有者に帰属	112,726	105,798
非支配持分に帰属	10,848	10,709

(単位：円)

1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益	145.60	138.74
希薄化後1株当たり四半期利益	—	—

(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期利益	123,574	116,507
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
FVTOCIに指定した資本性金融商品への投資による損益	110,396	△202,564
確定給付制度の再測定	△0	△135
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	37	△7
合計	110,433	△202,706
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	8,200	205,546
キャッシュ・フロー・ヘッジ損益	△337	△3,263
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	2,338	8,180
合計	10,201	210,463
その他の包括利益合計	120,634	7,757
四半期包括利益	244,208	124,264
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者に帰属	234,516	104,807
非支配持分に帰属	9,692	19,457

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分				
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
				FVTOCIに指定した資本性金融商品への投資による損益	確定給付制度の再測定
2021年4月1日残高	187,457	272,517	△56,830	664,905	—
四半期利益	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	110,230	△0
四半期包括利益	—	—	—	110,230	△0
自己株式の取得	—	—	△38,036	—	—
自己株式の処分	—	1,281	2,025	—	—
配当金	—	—	—	—	—
子会社に対する所有者持分の変動	—	△0	—	—	—
企業結合による変動	—	—	—	—	—
利益剰余金への振替	—	—	—	△12,236	0
その他の増減	—	△1	—	—	—
所有者との取引額合計	—	1,280	△36,011	△12,236	0
2021年9月30日残高	187,457	273,797	△92,841	762,899	—
2022年4月1日残高	187,457	273,803	△152,346	788,476	—
四半期利益	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	△202,272	△139
四半期包括利益	—	—	—	△202,272	△139
自己株式の取得	—	—	△59,961	—	—
自己株式の処分	—	19	87	—	—
配当金	—	—	—	—	—
子会社に対する所有者持分の変動	—	—	—	—	—
企業結合による変動	—	—	—	—	—
利益剰余金への振替	—	—	—	△11,339	139
その他の増減	—	—	—	—	—
所有者との取引額合計	—	19	△59,874	△11,339	139
2022年9月30日残高	187,457	273,822	△212,220	574,865	—

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素			利益剰余金	合計		
	在外営業 活動体の 換算差額	キャッシュ・ フロー・ ヘッジ損益	合計				
2021年4月1日残高	26,472	40	691,417	2,796,451	3,891,012	185,705	4,076,717
四半期利益	—	—	—	112,726	112,726	10,848	123,574
その他の包括利益	11,897	△337	121,790	—	121,790	△1,156	120,634
四半期包括利益	11,897	△337	121,790	112,726	234,516	9,692	244,208
自己株式の取得	—	—	—	—	△38,036	—	△38,036
自己株式の処分	—	—	—	—	3,306	—	3,306
配当金	—	—	—	△54,243	△54,243	△37,043	△91,286
子会社に対する所有者持分の変動	—	—	—	—	△0	△10	△10
企業結合による変動	—	—	—	—	—	2,813	2,813
利益剰余金への振替	—	—	△12,236	12,236	—	—	—
その他の増減	—	—	—	1	0	11	11
所有者との取引額合計	—	—	△12,236	△42,006	△88,973	△34,229	△123,202
2021年9月30日残高	38,369	△297	800,971	2,867,171	4,036,555	161,168	4,197,723

2022年4月1日残高	187,086	△2,779	972,783	3,017,660	4,299,357	190,169	4,489,526
四半期利益	—	—	—	105,798	105,798	10,709	116,507
その他の包括利益	204,683	△3,263	△991	—	△991	8,748	7,757
四半期包括利益	204,683	△3,263	△991	105,798	104,807	19,457	124,264
自己株式の取得	—	—	—	—	△59,961	—	△59,961
自己株式の処分	—	—	—	—	106	—	106
配当金	—	—	—	△64,886	△64,886	△20,873	△85,759
子会社に対する所有者持分の変動	—	—	—	—	—	—	—
企業結合による変動	—	—	—	—	—	—	—
利益剰余金への振替	—	—	△11,200	11,200	—	—	—
その他の増減	—	—	—	1,271	1,271	△886	385
所有者との取引額合計	—	—	△11,200	△52,415	△123,470	△21,759	△145,229
2022年9月30日残高	391,769	△6,042	960,592	3,071,043	4,280,694	187,867	4,468,561

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	182,855	170,644
減価償却費	171,734	181,893
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	1,233	△1,134
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	2,091	2,024
受取利息及び受取配当金	△20,736	△24,621
支払利息	2,131	4,174
為替差損益 (△は益)	△2,181	△10,919
持分法による投資損益 (△は益)	△3,408	962
有形固定資産の除売却損益 (△は益)	1,491	△847
売上債権の増減額 (△は増加)	192,841	47,176
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△165,400	△34,766
仕入債務の増減額 (△は減少)	△66,854	△63,721
引当金の増減額 (△は減少)	△54,854	△28,735
その他	10,937	32,153
小計	251,880	274,283
利息の受取額	2,514	5,731
配当金の受取額	19,231	24,124
利息の支払額	△2,023	△3,923
法人所得税の支払額	△24,638	△59,846
営業活動によるキャッシュ・フロー	246,964	240,369
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額 (△は増加)	2,946	5,049
有形固定資産の取得による支出	△154,158	△184,210
有形固定資産の売却による収入	9,337	11,571
無形資産の取得による支出	△14,693	△22,266
資本性金融商品の取得による支出	△1,263	△16,999
負債性金融商品の取得による支出	△110	△130
資本性金融商品の売却による収入	20,190	18,570
負債性金融商品の売却又は償還による収入	178	126
子会社又はその他の事業の取得による収支	△4,003	—
子会社又はその他の事業の売却による収支	—	17,980
その他	△955	601
投資活動によるキャッシュ・フロー	△142,531	△169,708
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	24,682	32,880
借入金による調達額	6,444	39,098
借入金の返済による支出	△39,803	△51,118
リース負債の返済による支出	△13,402	△14,151
社債の発行による収入	55,960	—
社債の償還による支出	△10,000	△40,000
配当金の支払額	△54,243	△64,886
非支配持分への配当金の支払額	△36,960	△20,873
自己株式の取得による支出	△38,036	△59,961
自己株式取得のための預託金の増減額 (△は増加)	△31,978	—
その他	△173	6,101
財務活動によるキャッシュ・フロー	△137,509	△172,910
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5,786	54,214
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△38,862	△48,035
現金及び現金同等物の期首残高	897,395	867,808
現金及び現金同等物の四半期末残高	858,533	819,773

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

① 一般情報

報告セグメントの識別方法、各報告セグメントが営む事業の内容及びセグメント利益の測定基準については、当第2四半期連結累計期間において重要な変更はありません。

② セグメントごとの売上収益、利益又は損失に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	消去又は 全社	連結	
	日本	北米	欧州	アジア	計				
売上収益									
外部顧客への 売上収益	1,141,423	557,246	241,101	607,716	2,547,486	35,454	—	2,582,940	
セグメント間の内部 売上収益	548,559	7,430	28,410	107,753	692,152	637	△692,789	—	
計	1,689,982	564,676	269,511	715,469	3,239,638	36,091	△692,789	2,582,940	
セグメント利益又は損 失	88,917	2,892	3,878	57,377	153,064	7,981	△1,726	159,319	
金融収益									21,742
金融費用									△3,560
為替差損益									1,946
持分法による投資損益									3,408
税引前四半期利益									182,855

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、南米等の現地法人の事業活動を含んでいます。

当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	消去又は 全社	連結	
	日本	北米	欧州	アジア	計				
売上収益									
外部顧客への 売上収益	1,126,684	707,704	292,644	840,152	2,967,184	52,930	—	3,020,114	
セグメント間の内部 売上収益	612,259	7,272	29,281	120,770	769,582	692	△770,274	—	
計	1,738,943	714,976	321,925	960,922	3,736,766	53,622	△770,274	3,020,114	
セグメント利益又は損 失	91,031	△12,980	3,605	67,357	149,013	11,403	△5,003	155,413	
金融収益									25,646
金融費用									△5,043
為替差損益									△4,410
持分法による投資損益									△962
税引前四半期利益									170,644

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、南米等の現地法人の事業活動を含んでいます。